

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成30年10月18日 (2018.10.18)

【公表番号】特表2016-532757(P2016-532757A)

【公表日】平成28年10月20日 (2016.10.20)

【年通号数】公開・登録公報2016-060

【出願番号】特願2016-536097(P2016-536097)

【国際特許分類】

C 0 9 K 3/14 (2006.01)

B 2 4 B 37/00 (2012.01)

C 0 9 G 1/02 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 K 3/14 5 5 0 F

B 2 4 B 37/00 H

C 0 9 K 3/14 5 5 0 D

C 0 9 K 3/14 5 5 0 Z

C 0 9 G 1/02

【誤訳訂正書】

【提出日】平成30年9月7日 (2018.9.7)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 3 3 】

窒素含有基は、第四級アミン塩又は第三級アミン塩である可能性が最も高い。より具体的には、カチオン界面活性剤は、アルキル - 第四級化アンモニウム塩、アルキルアミン、及びアミン塩の少なくとも一つであり得る。カチオン性ポリマーは、クォータニウム系ポリマー又は高分子電解質の少なくとも一つを含み得る。アルキル - 第四級化アンモニウム塩は、塩化物、メトスルフェート、又は臭化物塩の少なくとも一つを含み得る。塩化物塩は、例えば、ステアラルコニウムクロリド、セトリモニウムクロリド、ベヘントリモニウムクロリド、ベンザルコニウムクロリド、ケイヒ酸アミドプロピルトリモニウムクロリド、ココトリモニウムクロリド、ジセチルジモニウムクロリド、ジココジモニウムクロリド、水素化パー(trimethyl)アンモニウムクロリド、ラウリルトリモニウムクロリド、クォータニウム - 15 (IUPAC名: 1 - (3 - クロロアリル) - 3, 5, 7 - トリアザ - 1 - アゾニアアダマンタンクロリド; CAS No. 4080 - 31 - 3)、クォータニウム - 22 (IUPAC名: N - [3 - [ジメチル(2 - ヒドロキシエチル)アミノ]プロピル] - D - グルコンアミドクロリド; CAS Nos. 51812 - 80 - 7 / 82970 - 95 - 4)、クォータニウム - 82 (IUPAC名: [2 - [ビス(2 - ヒドロキシプロピル)アミノ]エチル]ビス(2 - ヒドロキシプロピル)(メチル)アンモニウムメチルスルフェート ジオリアート(エステル); CAS Nos. 65059 - 61 - 2 / 173833 - 36 - 8)の少なくとも一つを含み得る。アルキルアミン又はアミン塩は、ステラアミドプロピルジメチルアミンラクテート、ステラアミドプロピルジメチルアミンシトレート、ステラアミドプロピルジメチルアミンプロピオナート、イソステラアミドプロピルジメチルアミン、イソステラアミドプロピルモルフォリン、コムギ胚芽アミドプロピルジメチルアミン、及びベヘナミドプロピルジメチルアミンの少なくとも一つを含み得る。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

キャリア中に分散された研磨粒子を含み、前記キャリアは、水、エチレングリコール、並びに、ステアラルコニウムクロリド、ベヘントリモニウムクロリド、ケイヒ酸アミドプロピルトリモニウムクロリド、ココトリモニウムクロリド、ジセチルジモニウムクロリド、ジココジモニウムクロリド、クォータニウム - 15、クォータニウム - 22、クォータニウム - 82 及びこれらの組み合わせからなる群から選択される塩化物塩、又はメトスルフェート塩の少なくとも一つを含む約 0.5 wt % から約 60 wt % のカチオン界面活性剤を含む、ラッピングスラリー。

【請求項 2】

研磨粒子が、立方晶窒化ホウ素、ダイヤモンド、表面改質ダイヤモンド及びダイヤモンド複合材料の群から選択される、請求項 1 に記載のラッピングスラリー。

【請求項 3】

消泡剤を更に含む、請求項 1 に記載のラッピングスラリー。

【請求項 4】

カチオン性ポリマーを更に含む、請求項 1 に記載のラッピングスラリー。

【請求項 5】

カチオン界面活性剤が、アルキルアミン及びアミン塩の少なくとも一つを更に含む、請求項 1 に記載のラッピングスラリー。

【請求項 6】

カチオン性ポリマーが、クォータニウム系ポリマー及び高分子電解質の少なくとも一つを含む、請求項 4 に記載のラッピングスラリー。

【請求項 7】

塩化物塩が、クォータニウム - 15、クォータニウム - 22、クォータニウム - 82 及びこれらの組み合わせからなる群から選択される、請求項 1 に記載のラッピングスラリー。

【請求項 8】

アルキルアミン又はアミン塩が、ステラアミドプロピルジメチルアミンラクテート、ステラアミドプロピルジメチルアミンシトラート、ステラアミドプロピルジメチルアミンプロピオナート、イソステラアミドプロピルジメチルアミン、イソステラアミドプロピルモルフォリン、コムギ胚芽アミドプロピルジメチルアミン及びベヘナミドプロピルジメチルアミンの少なくとも一つを含む、請求項 5 に記載のラッピングスラリー。

【請求項 9】

超砥粒材料；及び

カチオン界面活性剤

を含むラッピング組成物であって、カチオン界面活性剤が、ステアラルコニウムクロリド、ベヘントリモニウムクロリド、ケイヒ酸アミドプロピルトリモニウムクロリド、ココトリモニウムクロリド、ジセチルジモニウムクロリド、ジココジモニウムクロリド、クォータニウム - 15、クォータニウム - 22、クォータニウム - 82 及びこれらの組み合わせからなる群から選択される塩化物塩、又はメトスルフェート塩の少なくとも一つを含み、カチオン界面活性剤が超砥粒材料の表面上に吸着される、ラッピング組成物。

【請求項 10】

液体を更に含み、カチオン界面活性剤が約 0.5 重量パーセントから約 60 重量パーセントの量で存在する、請求項 9 に記載のラッピング組成物。

【請求項 11】

前記液体がエチレングリコールを含む、請求項 10 に記載のラッピング組成物。

【請求項 12】

前記カチオン界面活性剤が、アルキルアミン及びアミン塩の少なくとも一つを更に含む、請求項 9 に記載のラッピング組成物。

【請求項 13】

クォータニウム系ポリマー及び高分子電解質の少なくとも一つを含むカチオン性ポリマーを更に含む、請求項 9 に記載のラッピング組成物。

【請求項 14】

塩化物塩が、クォータニウム - 15、クォータニウム - 22、クォータニウム - 82 及びこれらの組み合わせからなる群から選択される、請求項 9 に記載のラッピング組成物。

【請求項 15】

ゼータ電位により証明されるように、5 から 9 までの範囲の pH を有するエチレングリコール中に分散されたとき、正に帯電される研磨粒子；

ステラアミドプロピルジメチルアミンラクテート、ステラアミドプロピルジメチルアミンシトレート、ステラアミドプロピルジメチルアミンプロピオナート、イソステラアミドプロピルジメチルアミン、イソステラアミドプロピルモルフォリン、コムギ胚芽アミドプロピルジメチルアミン又はベヘナミドプロピルジメチルアミンの少なくとも一つを含むカチオン界面活性剤；及び

エチレングリコール中に分散された消泡剤を含むラッピングスラリー。

【請求項 16】

約 0.5 wt % から約 60 wt % のカチオン界面活性剤を更に含む、請求項 15 に記載のラッピングスラリー。

【請求項 17】

前記カチオン界面活性剤が、アルキル - 第四級化アンモニウム塩を含む、請求項 15 に記載のラッピングスラリー。

【請求項 18】

研磨粒子が、立方晶窒化ホウ素、ダイヤモンド、表面改質ダイヤモンド及びダイヤモンド複合材料の群から選択される、請求項 15 に記載のラッピングスラリー。

【請求項 19】

前記カチオン界面活性剤が、塩化物塩又はメトスルフェート塩の少なくとも一つを更に含む、請求項 17 に記載のラッピングスラリー。

【請求項 20】

塩化物塩が、ステアラルコニウムクロリド、ベヘントリモニウムクロリド、ベンザルコニウムクロリド、ケイヒ酸アミドプロピルトリモニウムクロリド、ココトリモニウムクロリド、ジセチルジモニウムクロリド、ジココジモニウムクロリド、クォータニウム - 15、クォータニウム - 22、クォータニウム - 82 及びこれらの組み合わせの少なくとも一つを含む、請求項 19 に記載のラッピングスラリー。

【請求項 21】

塩化物塩が、クォータニウム - 15、クォータニウム - 22、クォータニウム - 82 及びこれらの組み合わせからなる群から選択される、請求項 19 に記載のラッピングスラリー。

【請求項 22】

約 0.5 重量パーセントから約 60 重量パーセントのカチオン性ポリマーを含む、請求項 15 に記載のラッピングスラリー。

【請求項 23】

キャリア中に分散される研磨粒子を含むラッピングスラリーであって；

キャリアが、水、エチレングリコール、並びにステラアミドプロピルジメチルアミンラクテート、ステラアミドプロピルジメチルアミンシトレート、ステラアミドプロピルジメチルアミンプロピオナート、イソステラアミドプロピルジメチルアミン、イソステラアミ

ドプロピルモルフォリン、コムギ胚芽アミドプロピルジメチルアミン又はベヘナミドプロピルジメチルアミンの少なくとも一つを含む約 0 . 5 重量パーセントから約 6 0 重量パーセントのカチオン界面活性剤を含む、ラッピングスラリー。

【請求項 2 4】

前記カチオン界面活性剤が、メトスルフェート塩を含む、請求項 1 に記載のラッピングスラリー。